2026年11月13日

定額宿泊サービス「ツギツギ」に関する実証計画が「規制のサンドボックス制度」の認定を受けました

東急株式会社

当社は、定額宿泊サービス「ツギツギ」における宿泊と航空の連携に関する実証計画について、2026年11月13日、旅行・航空分野を所管する国土交通大臣から、産業競争力強化法に基づく「規制のサンドボックス制度」（新技術等実証制度）の認定を受けました。

「ツギツギ」は、宿泊利用権を先に購入し、行き先や日程をあとから決めるサービスです。宿泊と航空の同時手配を前提とした従来の旅行商品とは取引構造が異なるため、「個人包括旅行運賃」の活用に向けては、利用者保護や航空会社間の公正な競争を確保しながらサービスを提供できるか、実際の利用を通じて検証する必要があります。

本実証では、実際の旅行を通じた利用者の価格認識や選択行動の調査に加え、将来を想定した総額表示に関する検証を行います。得られたデータを基に、航空法の趣旨を踏まえた制度・運用上の課題を整理し、先行して購入した宿泊利用権と航空を組み合わせ、個人包括旅行運賃を活用する新たな旅行サービスの実現を目指します。

本実証の実施時期や参加方法などの詳細は、準備が整い次第、改めてお知らせします。

定額宿泊サービス「ツギツギ」について

「ツギツギ」は、サブスクリプション型宿泊サービスです。全国500※1以上の宿泊施設と提携していることで、その日の都合や気分に合わせて好きな場所を選び、定額で自由に宿泊できます。ご利用頻度に応じて宿泊数を選べる複数のプランを用意しており、どのプランでも同伴者1名まで無料で宿泊可能です。

「旅行することが特別なことではなく、日常の延長になる。」 そんな新しい旅のあり方を提案する「ツギツギ」は、現在、無料会員を中心に登録者数35万人※を突破し、“旅を日常に取り入れる”ユーザー層を全国に広げています。気分転換や小さな移動をもっと身近に感じられるサービスとして、多くの方にご利用いただいています。

※1　2026年11月13日現在



▲定額制宿泊サービス「ツギツギ」サービスイメージ

「規制のサンドボックス制度」について

「規制のサンドボックス制度」（新技術等実証制度）は、産業競争力強化法に基づき、新しい技術やビジネスモデルの社会実装を促進する国の制度です。既存の規制との関係で事業化に向けた課題がある場合に、期間や参加者などを限定して実証を行い、得られた情報やデータを規制の見直しや運用の明確化などにつなげます。

事業者が申請した実証計画について、内閣府に設置された新技術等効果評価委員会が、経済全般に及ぼす効果などを専門的・客観的な観点から評価し、その意見を踏まえて、事業や規制を所管する主務大臣が認定します。

認定を受けた事業者は、計画に沿って実証を行い、その結果を国に報告します。実際の利用状況などに基づく検証を通じて、新たなサービスの提供に必要なルールや条件の具体化を図る仕組みです。

以　上